

2018 年度支部活動【中部支部】 in 三重

「外国人児童生徒への日本語指導を考える —初期指導とその次の段階へ—」

主催：公益社団法人日本語教育学会 共催：津市教育委員会

<注>本支部活動は、平成 30 年度文部科学省委託事業「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発事業」のモデルプログラム検証の一環として実施するものです。実施に当たっては、上記委託事業調査研究部会の協力を得ています。また、津市教育委員会日本語教育担当者研修を兼ねていますため、申込多数の場合は、共催関係者を優先します。

【日時】 2018 年 8 月 24 日（金）13：00～16：40 ※要事前申込：8/5 締切

【会場】 津市センターパレスホール（三重県津市大門 7 番 15 号 津センターパレスビル 5 階）
・バス「津駅前」より「三重会館前」下車すぐ（津駅東口のロータリー沿いバス停）
・隣接駐車場あり（市営フェニックス通り駐車場・有料）
地図や詳しいアクセスはこちら <http://www.kk-t-c-p.com/access/index.html>

【対象】 外国人児童生徒の教育に携わる教員・支援者の方

【定員】 50 名 ※締切日前でも申込みが定員になり次第募集を終了いたします。

【内容】 12：30～ 開場・受付

13：00～13：10 開会の挨拶・趣旨説明

13：10～14：10 講演① 講師：浜田 麻里氏（京都教育大学）

「初めて日本語指導担当になった先生のための日本語指導の理論と実際—初期段階の指導—」

初めて日本語指導担当になり、どうしていいかわからないという先生方に向けて、子どもたちへの日本語指導について、言語能力などの理論のお話から、それを実際にどのように取り入れていけばいいかまで分かりやすくお伝えします。

14：10～15：10 講演② 講師：大菅 佐妃子氏（京都市教育委員会）

「在籍学級での外国人児童生徒の支援—初期適応日本語終了後の子どものために—」

初期適応日本語終了後、子どもたちはいよいよ在籍学級での勉強をスタートさせます。しかし、教科学習を理解することは大変困難です。在籍学級での教科学習をどのように支援していけばいいか、実践の紹介から分かりやすくお伝えします。

15：20～16：20 ワークショップ

16：20～16：30 総括

16：30～16：40 閉会の挨拶

【申込方法】 メールによる事前予約制。必ず 2018 年 8 月 5 日（日）までに、件名に「8/24 研修参加」、メール本文に、1) お名前、2) 日本語教育学会会員の方は会員番号、3) ご所属、4) 電話番号、5) メールアドレスをご記入の上、下記へメールをお送りください。申込メールに対し、8 月 6 日（月）17 時までに返信メールが届かない方は必ずお電話にてご連絡ください。

【申込・問合せ】 支部活動委員会事務局 E-mail: shibu@nkg.or.jp ※アットマークは半角にしてください。